

2014年2月14日

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部

## HDC-EDI Base/FTP サーバアクティブモードによる 同時ファイル転送ができない件について

Oracle Java の仕様変更に伴い、Windows 上の HDC-EDI Base B2B、HDC-EDI Base B2B LE 及び HDC-EDI Base E2X で FTP サーバのアクティブモードにおいて同時にファイル転送ができないという事象が検出されましたので、下記のとおりご報告致します。

事象、発生原因、対応策の内容をご確認いただき、何卒ご対応の程お願い申し上げます。

－ 記 －

### 1. 現象

Windows上のHDC-EDI Base B2B、HDC-EDI Base B2B LE 及びHDC-EDI Base E2X で、FTP サーバのアクティブモードにおいて同時にファイル転送が行えずエラーが発生します。

以下の手順では、最初のセッションはファイル転送を開始しますが、次に転送を開始した通信は java.net.BindException の例外が発生して異常終了します。

(1) 2回線以上のFTP着信回線を用意し、複数のFTP クライアントからアクティブモードで接続を受ける

(2) 接続された複数のFTPクライアントと、同時にファイル転送が行われる

※HDC-EDI Baseの稼働記録には以下のメッセージが出力されます。

『10083014:FTP手順で端末へのデータ接続用のソケット生成時に障害が発生しました

障害詳細=java.net.BindException: アドレスがすでに使われています』

### 2. 発生条件

#### ■稼働環境

【OS】Windows Server

【Java】Oracle Java 7u25 以上、あるいはJava サポートを受けている場合はOracle Java 6u51以上

#### ■回線情報

FTPの着信回線を2回線以上で運用し、FTPデータポート番号に同じローカルポートを使用している場合

※ポート番号を省略した場合は、ローカルポート(20)が設定されます

## ■タイミング

複数のFTPクライアントからアクティブモードで接続を受け、同時にファイル転送が行われた場合

### 3. 発生原因

Windows プラットフォームで発生する脆弱性の問題を改善する為に、上記に挙げたJavaのバージョンから、同じポートに対し複数プロセスのバインドを防ぐ対策が行われています。その結果、FTP サーバのアクティブモードがコネクション生成時に使用するローカルポート(20)の同時利用ができなくなりました。

※通常FTPサーバでは、アクティブモードで接続しに行くデータコネクションにローカルポート(20)を固定利用する仕様になっています。今回のJavaが行った対策によりローカルポート(20)の同時利用ができなくなったため、HDC-EDI Base では10083014のエラーが発生します。

※FTP について:<http://www.nina.jp/server/basic/ftp.html> を参考

### 4. 対応方法

以下は、本事象への対応策です。いずれかの対応策の適応をお願い致します。

1) ローカルポート(20)を固定する必要のない運用の場合、FTP 回線情報の「FTP データポート番号」を(20)から(0)に変更。

※ローカルポートを固定化せず、ランダムなポートとして使用します。但し、ファイアウォールなどの設定を考慮する必要があります。

2) Java プロパティ「-Dsun.net.useExclusiveBind=false」をHDC-EDI Base 起動時に指定する。

※このJava プロパティを指定することで、Bind 時に使うポートの同時利用に対して、Oracle Java7u21 以前の仕様として動作させることができます。但し、Windows プラットフォームで発生する脆弱性の問題を意識した上での利用となります。

以上